

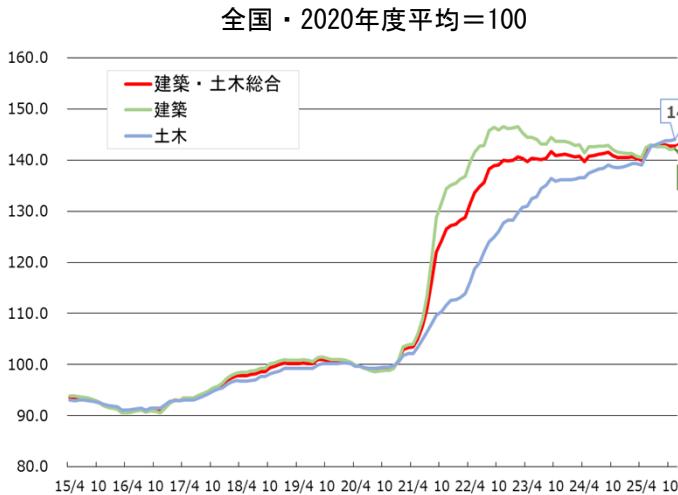
# 積算資料 建設資材価格指標



一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所

建設資材価格指標は、建設工事で使用される資材についてその価格変動を総合的に捉えることを目的とした指標です。年々変化する建設工事の内容に対応した総合的な価格変動を表す総合資材価格指標として、価格変動に係わる資料や効率的な資材確保の資料等としてご利用下さい。

## 指標の推移 (2025年11月調査)



当月指標	前月比	前年同月比
142.8	+0.1	+2.3
142.2	+0.1	+0.6
144.0	+0.2	+5.5

指標の詳細な計算結果は[こちら](https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/)  
<https://www.zai-keicho.or.jp/service/build/price/>



## 部門別 主な指標の動き (主要10都市)

	前月比 プラス	前月比 マイナス
建築・土木 総合	<ul style="list-style-type: none"><li>セメント: +21.2 大阪</li><li>生コンクリート: +12.7 広島</li><li>骨材: +8.5 新潟</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>瀝青材: -2.1 仙台、-2.0 札幌・高松、-1.9 新潟、-1.7 名古屋・広島・福岡、-1.5 大阪、-1.3 那覇、-1.2 東京</li><li>普通鋼鋼材: -0.4 札幌</li></ul>
建築	<ul style="list-style-type: none"><li>セメント: +21.2 大阪</li><li>生コンクリート: +12.5 広島</li><li>骨材: +8.5 新潟</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>普通鋼鋼材: -0.4 札幌</li></ul>
土木	<ul style="list-style-type: none"><li>セメント: +21.2 大阪</li><li>生コンクリート: +13.1 広島</li><li>コンクリート二次製品: +0.1 名古屋</li><li>骨材: +8.5 新潟</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>瀝青材: -4.6 東京・名古屋・大阪・広島、-4.4 仙台・福岡、-4.3 新潟・高松、-4.1 札幌、-3.4 那覇</li><li>普通鋼鋼材: -0.5 札幌</li></ul>

## 指標集計対象資材の市況

11月調査に基づく建設資材価格指標は、建築・土木総合で142.8となり、前月の下落から一転して前月比プラス0.1ポイントの上昇で推移した。建築・土木両指標も前月を上回ったが、なかでも土木指標は前月から0.2ポイント上昇し過去最高値を更新。大阪地区のセメント価格が+21.2で、生コンクリートが+12.7と上昇したことが指標の上昇に寄与し、土木指標としては初めて142台に到達することとなった。セメント市況は、メーカーの値上げを契機に4月以降全国的に強基調で推移しており、主要10都市では仙台地区を除く全ての都市で上昇している。こうした動きを背景に、11月調査では広島地区で生コンクリートが一段高となるなど、影響が波及している。今後も地場製品の市況は底堅く推移するとみられ、先行き、指標は現行水準を維持した動きが続きそう。

## 指標に関するお問い合わせ先

一般財団法人 経済調査会 経済調査研究所 研究成果普及部 TEL.03-5777-8212